

## 読売新聞 きょう（2月9日）のイチ押し

### 1面 大阪 独自基準満たす

大阪府内の新型コロナウイルスの新規感染者数が8日、緊急事態宣言の解除を政府に要請する府の独自基準を下回りました。9日に対策本部会議を開いて要請するかどうかを検討します。ただ、要請する場合でも、京都、兵庫両府県と調整した上で、13日以降とするようです。

- ★ 大阪府の解除要請基準は、①直近1週間の新規感染者の1日平均が300人以下②重症病床使用率が60%未満——のいずれかを7日連続で達成した場合です。①で基準を下回りました。
- ★ 要請の時期を13日以降としたのは、13日に新型インフルエンザ対策特別措置法が施行され、新たに「まん延防止等重点措置」の対象地域が設けられるためです。大阪府の吉村洋文知事は、緊急事態が解けても、なんらかの措置が必要と考えているようです。
- ★ 解除要請の基準は3府県で異なっています。京都は12日にも達成する可能性があります。兵庫はなお基準を満たしておらず、井戸敏三知事は「今は解除を判断する時期ではない」と慎重な姿勢を示しています。

### 社会面 東日本大震災10年 連載「わたしは今」

東日本大震災の巨大津波と原発事故から、まもなく10年になります。当時、被災地には悲しみや怒りがあふれましたが、本紙はそれだけではなく、感謝や希望も伝えてきました。10年前に紙面で取り上げた人を、再び訪ねて「あの時」と「今」を描く連載です。

初回は震災直後の3月26日に生まれた会田希美（のぞみ）さんを訪ねています。「たくさんの人に守られて生まれてきたんだ」という希美さんの言葉が印象に残ります。

#### 他紙と比べて

今年の演劇界の成果を顕彰する「第28回読売演劇大賞」が決まりました。選考委員からは、新型コロナウイルスの感染拡大という困難の中で上演された作品や、懸命に活動した人をたたえる声があがりました。受賞作や受賞者を特集で紹介しています。